

令和3年度（2021）

学校関係者評価報告書

学校法人 SOLA 学園

沖縄医療工学院

R3年度 職員自己評価アンケート集計結果		
(1) 教育理念・目標・人材育成像		評価
(1)-1	学校の理念・目的・育人人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3
(1)-2	学校における職業教育の特色は何か	3
(1)-3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
(1)-4	学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	3
(1)-5	各学科の教育目標・育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
(2) 学校運営		評価
(2)-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
(2)-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
(2)-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3
(2)-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
(2)-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
(2)-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
(2)-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
(2)-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2
(3) 教育活動		評価
(3)-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
(3)-2	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
(3)-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
(3)-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
(3)-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
(3)-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
(3)-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2
(3)-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
(3)-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
(3)-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
(3)-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
(3)-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
(3)-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
(3)-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2
(4) 学修成果		評価
(4)-1	就職率の向上が図られているか	3
(4)-2	資格取得率の向上が図られているか	3
(4)-3	退学率の低減が図られているか	3
(4)-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
(4)-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2
(5) 学生支援		評価
(5)-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
(5)-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
(5)-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
(5)-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
(5)-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
(5)-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
(5)-7	保護者と適切に連携しているか	3
(5)-8	卒業生への支援体制はあるか	2
(5)-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
(5)-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(6) 教育環境		評価
(6) - 1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
(6) - 2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
(6) - 3	防災に対する体制は整備されているか	3
(7) 学生の受入れ募集		評価
(7) - 1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
(7) - 2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
(7) - 3	学納金は妥当なものとなっているか	3
(8) 財務		評価
(8) - 1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
(8) - 2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2
(8) - 3	財務について会計監査が適正に行われているか	3
(8) - 4	財務情報公開の体制整備はできているか	3
(9) 法令等の遵守		評価
(9) - 1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
(9) - 2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
(9) - 3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
(9) - 4	自己評価結果を公開しているか	3
(10) 社会貢献・地域貢献		評価
(10) - 1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
(10) - 2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
(10) - 3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3
(11) 国際交流（必要に応じて）		評価
(11) - 1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
(11) - 2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
(11) - 3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
(11) - 4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2

R3年度 学生アンケート集計結果		
(1) 学校について		評価
(1) - 1	学校は、基本的な生活習慣や社会人としてのマナーが身につくように授業を行っている。	3
(1) - 2	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行っている。	3
(1) - 3	学校は、学生の悩みや相談などに応じている。	3
(2) 学生支援について		評価
(2) - 1	学生の経済的側面に対する指導体制が整備され、機能している。	3
(2) - 2	学生の健康管理を担う組織体制があり、機能している。	3
(2) - 3	学校行事は様々な体験ができるよう工夫されている。	3
(2) - 4	サークル活動は活発に行われている。	2
(2) - 5	学校と保護者の連携がとれている。	3
(2) - 6	図書館は利用しやすい。	2
(2) - 7	学校の施設設備は十分に整備されている。	3
(2) - 8	学校は、防災に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮している。	3
(2) - 9	この学校に入学してよかったと思う。	3
(2) - 10	就職・進学の指導体制は、学生が主体的に選択できるように整備され、機能している。	3
(2) - 11	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制が整っている。	2

令和3年度 学校関係者評価委員会 自己点検・評価

沖縄医療工学院

1. 概要

職員による自己点検・評価アンケートは、文科省推薦の全国専門学校教育研究会策定の「自己点検・評価作成マニュアル」を基本に、全職員及び全学生を対象に実施し集計を行った。

また、3月に学内評価委員会により、自己採点評価を行い、評価項目内容について改善すべき事項を抽出し、総合的に評価を実施した。

2. 主な内容

(1) 教育理念・目標・人材育成像

在校生に対しては学生のしおりに記載、4月のオリエンテーション時に配布し周知を行った。教職員に対しては、年3回の研修を行った。4月の第1回目は学校運営基本方針の周知、各学科・各部署の方針及び情報共有を行った。第2回(9月)は「授業の質の向上」、「コロナ禍における学校運営」、「オンライン授業の展開について」、「就職指導について」「総務部より」のプログラム構成でグループワークも織り交ぜながら後期に向けた取り組み確認を行った。同日午後には管理職研修を実施、「管理職とは」「管理職の仕事と役割」「目標管理」「コミュニケーション管理」「PDCAサイクルの実行」のプログラムで一般職と管理職の役割の違いなどを確認する機会とした。第3回目(1月)は「コミュニケーションと質問力」をテーマにグループワークを実施。職員間や学生に向けたやる気を引き出すための「質問力の向上・修得」を図った。

運営方法、時期に応じた内容など諸々の反省点はあったが、アンケート結果を踏まえると概ね好回答であった。次年度も研修会等の頻度・内容の充実を図っていく。

(2) 学校運営

運営方針や事業計画について、学校パンフレット・学生のしおり・学校ホームページ上で明記している。また、各学科保護者面談等を通じて、学校の年間計画・活動、実績報告・運営状況を伝え、ご理解いただいている。

教育活動については、教育課程表を学生のしおり・学校ホームページに掲載、シラバスは学校ホームページに掲載しており、情報公開を行っている。

今年度は新たな校務運営委員会(行事实行委員会・生活指導委員会・就職指導委員会・研修委員会)の立ち上げや実施等に奮闘した1年であったため、次年度に向けて質及び量の向上を目指すことが課題となった。また、情報システムについて業務の効率化を図るため、入試・学籍・学納金等、学生管理の一元化するシステムの導入を令和4年度に運用すべく急ピッチで準備を進めている。

(3) 教育活動

教育課程について、年2回の教育課程編成委員会を設置し、有識者・企業等委員からの意見を取り入れ、職業教育に特化した教育課程の編成に繋がっていることが評価されている。

カリキュラムに必要な人材確保を行い、今年度は教育課程表に沿った教育活動の実施を行った。教職員の専門性や指導能力の向上を行うため外部機関が実施する学科関連の学会や研修、専門学校主催研修、各種コンクール等には積極的に参加を進めていたが、今年度新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会や研修会等の中止・延期が余儀なくされたため、次年度は職員の技能・指導力向上に努めなければならない。

また、新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言のため休校期間があり、学生の学びに支障が出たが、後期より校内通信環境の整備、遠隔授業可能な施設設備の導入を行い、対面とオンラインを混合した本格的な遠隔授業を実施。大きな混乱やクラスターもなく座学・実技の両方を終えることができた。

(4) 学修成果 (令和2年度)

今年度の就職・資格取得・退学については、集計が年度途中のため、次年度の学校関係者評価委員会で報告とする。今回は前年度(令和1年度)の実績報告を行う。

①就職率 (令和2年度実績)

救急救命学科 (32名)	31% (10名)
臨床工学科 (23名)	52% (12名)
柔道整復学科 (20名)	100% (20名)
製菓製パン (パティシエ・ブーランジェ) 学科 (17名)	94% (16名)
スポーツ健康学科 CS トレーナーコース (43名)	65% (28名)
スポーツ健康学科メディカルトレーナーコース (41名)	87% (36名)

②資格取得率 (令和2年度)

救急救命学科 (32名)	救急救命士国家資格	75% (24名)
臨床工学科 (23名)	臨床工学技士国家資格	86% (20名)
柔道整復学科 (20名)	柔道整復師国家資格	65% (13名)
製菓製パン学科 (15名)	製菓衛生師国家資格	94% (14名)
スポーツ健康学科 CS トレーナーコース (43名)	NSCA	41% (16名)
	健康運動実践指導者	93% (40名)
スポーツ健康学科メディカルトレーナーコース (41名)	健康運動実践指導者	87% (36名)
	整体セラピスト検定	100% (41名)

③退学率 (令和2年度)

救急救命学科（0名）	0%
臨床工学科（1名）	4%
柔道整復学科（0名）	0%
製菓製パン学科（1名）	5%
スポーツ健康学科CSトレーナーコース （1名）	2%
スポーツ健康学科メディカルトレーナーコ ース（1名）	2%

救急救命士の就職率が低い点については、学生の希望する就職先が公務員のため、公務員試験の対策に力を入れていかなければならない。製菓製パン学科について卒業学年の人数が8名と少なく、1名の影響が数字に大きく出たためであると考えられる。

その他国家試験合格率・就職率を向上させるため、各学科・各部署とも連携を取り改善していかなければならない。

退学率は今年度、全学生の5%未満（25名以下）を目標としており、退学防止対策委員会が設置された。また、次年度から組織として同窓会を立ち上げ、卒業後のキャリア形成について学校と連携して企画運営していく計画である。

（5）学生支援

担任制を採用し、日常的な面談を実施している。また、教育相談室を開設し、学生の相談・メンタルケアを行っている。教職員の連携として学科長会議などで学生指導の状況報告などを通じて情報共有を図っている。学生面談記録や指導記録は文書化され保管されている。

入学前においてはオープンキャンパス・体験入学・学校説明会で生徒及び社会人、保護者の方々に対して、学校の特性や教育理念など明示され人材育成に関する将来像を説明している。

（6）教育環境

施設・設備については、先ほど述べたように校内ネットワーク環境を強化し、遠隔授業に取り組めるよう整備を進めているところである。その他、施設設備の老朽化、機器や備品の故障等の対応を随時行っていく計画である。

学外の研修について、臨床工学科3年・救急救命士学科3年の病院実習、柔道整復師学科2年の解剖実習見学、製菓製パン学科1・2年のインターンシップが滞りなく実施された。

（7）学生の受入募集

校務運営委員会による学納金の見直しが行われ、他校と比較し、妥当な学納金の設定が行われた。学生募集については、オープンキャンパスや学校説明会でパンフレットを配布し、丁寧な説明を行っている。また、経済的に支援が必要な学生については、奨学金情報の周知徹底を行い、学ぶ機会の継続に努めている。

(8) 財務

学校財務について、長期的なビジョンを基に、中期的計画、短期的計画を立案し、計画に沿って実施を行っている。年度予算編成及び執行については、規定に基づき対応されている。財務情報については、学校ホームページ上に公開を行い、適切に外部監査を受けている。

(9) 法令等の遵守

各種専修学校設置基準を遵守し、各学科主管のガイドラインに沿った適正な運営を行っており、組織的に自己点検・評価委員会を継続的に実施している。また、学校関係者評価委員会報告書や職業実践専門課程報告文書の公開を、学校ホームページ上で行っている。

(10) 社会貢献・地域貢献

各業界団体との連携を行い、危険物取扱者試験や資格試験会場校として協力を行った。今年度新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、NAHA マラソン・沖縄マラソンの救護ボランティアにも例年学生が参加、製菓製パン学科のヘクセンハウスを近隣施設へ贈呈、販売実習を行うなど地域貢献に努めた。

11月には宜野湾産業まつりにおいて、地元大山特産の田芋を使用したレシピ「焼きドーナツ」の実演販売、授業成果の発表の場として近隣企業にて「パン・スイーツ」の実演販売を行い大盛況であった。

12月は各学科の学事報告を兼ねた学園祭を実施、出店や販売等の制限を設けながらも、日頃の学習成果を保護者・友人・他学科の学生に披露する貴重な機会となった。

学園祭後の12/5には沖縄県洋菓子協会・県内卸売業者と協力してクリスマスケーキのデコレーションを行い、県内の福祉施設に寄贈した。

学園施設の有効活用として沖縄県保育士試験の会場として提供、事前準備・当日・事後と滞りなく実施された。

その他、【コロナに負けるな！いきなりプロジェクト】にスポーツ健康学科2年生の2名がボランティア活動に積極的に参加。食糧支援の配布や、車の誘導等を行った。

次年度の展望として、学外から積極的に公開講座や学園祭等、身近に学校へ足を運べるようなイベントの実施を目指す。

(11) 国際交流

今年度よりホテルマネジメント学科及びスポーツ健康学科スポーツビジネスコースの開設に伴い、ネパールと中国の留学生を受け入れた。今年度は学園祭での交流が主な報告となるが、次年度は学科横断的な交流の仕組み作りを活発化していく。